



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 イクヨ

コード番号 7273 URL <http://www.ikuyo194.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上田 祐嗣

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役常務 (氏名) 平川 滋

TEL 046-285-2046

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	8,804	26.1	522	—	351	—	317	—
22年3月期第3四半期	6,979	△44.6	△264	—	△453	—	△484	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	20.71	—
22年3月期第3四半期	△31.55	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	10,313	1,110	10.8	72.36
22年3月期	10,266	797	7.8	51.99

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 1,110百万円 22年3月期 797百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—		
23年3月期 (予想)				0.00	0.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,970	9.2	555	—	318	—	272	—	17.76

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.2「その他」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	15,385,000株	22年3月期	15,385,000株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	42,314株	22年3月期	42,184株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	15,342,738株	22年3月期3Q	15,343,356株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	2
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書 .....	5
(第3四半期連結累計期間) .....	5
(第3四半期連結会計期間) .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、政府による景気刺激策の効果や新興国を中心とした旺盛な需要拡大により一部業種で順調な回復が見られた一方、長期化する円高や株価の低迷、慢性的なデフレや厳しい雇用環境による個人消費の低迷が依然として続く厳しい状況で推移いたしました。

自動車業界においては、海外市場ではアジア・中南米等の新興国市場における景気拡大もあり、総じて緩やかな拡大を示す中、国内市場では若年層の購買意欲減退などから市場規模の縮小が続いております。

当社はこのような状況下、引き続き各社の海外向け輸出の増加に支えられ主力製品の売上が好調に推移しており、製造コストの低減努力、効率化経営により収益確保に努めて参りました。

このような情勢のもと、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高8,804百万円（前年同期比26.1%増加）、営業利益522百万円、経常利益351百万円、四半期純利益317百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は10,313百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円増加いたしました。流動資産は3,622百万円となり、429百万円増加いたしました。主な要因は現金及び預金の増加（226百万円）、受取手形及び売掛金の増加（215百万円）等です。固定資産は6,690百万円となり382百万円減少いたしました。主な要因は、有形固定資産の減少であり、新規取得よりも減価償却費が上回り372百万円の減少となったことです。負債は9,202百万円となり、前連結会計年度末に比べ266百万円減少いたしました。流動負債は7,973百万円となり、4,160百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加（250百万円）、1年内返済予定の借入金の振替等により、短期借入金（3,779百万円）の増加等です。固定負債は1,229百万円となり、4,426百万円減少いたしました。主な要因は、1年内返済予定の借入金の振替等により長期借入金（4,231百万円）、その他に含まれるリース債務（138百万円）等が減少いたしました。純資産は1,110百万円となり、前連結会計年度末に比べ312百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金の増加（317百万円）等です。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期通期連結業績予想につきましては、平成22年5月14日発表の「平成23年3月期通期連結業績予想」に記載した経常利益、当期純利益の予想値をいずれも上回って推移しておりますが、今後の状況を見極め業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理の概要

固定資産の減価償却の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

棚卸資産の評価方法は、実地棚卸を省略し前事業年度に係る実地棚卸高を基礎とした合理的な方法により算定しております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

原価差異の配賦について、原価差異を棚卸資産と売上原価への配賦を簡便的な方法により計算しています。

法人税等の計上基準については、一部簡便な方法を採用しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これによる損益に与える影響はありません。

#### ② 表示方法の変更

##### （四半期連結損益計算書）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	746,500	519,542
受取手形及び売掛金	2,225,958	2,010,064
商品及び製品	143,925	148,656
仕掛品	99,849	105,296
原材料及び貯蔵品	232,602	254,014
その他	173,493	155,654
流動資産合計	3,622,330	3,193,229
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,931,193	6,027,904
減価償却累計額	△4,202,757	△4,162,001
建物(純額)	1,728,436	1,865,902
工具、器具及び備品	20,672,525	20,356,758
減価償却累計額	△19,183,447	△18,959,898
工具、器具及び備品(純額)	1,489,077	1,396,860
土地	1,928,503	1,993,103
その他	6,023,490	6,104,345
減価償却累計額	△4,986,361	△4,804,299
その他(純額)	1,037,128	1,300,045
有形固定資産合計	6,183,146	6,555,912
無形固定資産	29,700	21,326
投資その他の資産		
その他	482,055	500,536
貸倒引当金	△4,133	△4,133
投資その他の資産合計	477,922	496,402
固定資産合計	6,690,770	7,073,641
資産合計	10,313,100	10,266,870
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,917,884	1,667,373
短期借入金	5,250,157	1,470,791
未払法人税等	13,761	23,626
賞与引当金	30,844	32,563
その他	760,775	618,817
流動負債合計	7,973,422	3,813,172
固定負債		
社債	10,000	20,000
長期借入金	448,535	4,680,507
退職給付引当金	648,140	669,595
その他	122,842	285,974
固定負債合計	1,229,517	5,656,076
負債合計	9,202,940	9,469,249

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,298,010	2,298,010
資本剰余金	2,323,426	2,323,426
利益剰余金	△3,469,887	△3,787,644
自己株式	△8,829	△8,821
株主資本合計	1,142,719	824,970
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	82,407	89,667
為替換算調整勘定	△114,966	△117,016
評価・換算差額等合計	△32,559	△27,349
純資産合計	1,110,159	797,621
負債純資産合計	10,313,100	10,266,870

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	6,979,721	8,804,269
売上原価	6,361,326	7,328,735
売上総利益	618,395	1,475,533
販売費及び一般管理費	882,453	953,396
営業利益又は営業損失(△)	△264,058	522,137
営業外収益		
受取利息	4,642	528
受取配当金	6,226	7,221
金型精算差益	1,555	1,677
その他	25,603	22,550
営業外収益合計	38,027	31,976
営業外費用		
支払利息	195,235	167,050
為替差損	15,073	28,352
その他	16,688	7,018
営業外費用合計	226,997	202,421
経常利益又は経常損失(△)	△453,028	351,692
特別利益		
固定資産売却益	788	3,599
その他	462	—
特別利益合計	1,250	3,599
特別損失		
固定資産売却損	1,210	2,907
固定資産除却損	6,488	9,415
投資有価証券評価損	—	1,184
その他	—	113
特別損失合計	7,698	13,619
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△459,476	341,672
法人税、住民税及び事業税	19,968	10,715
法人税等調整額	4,577	13,199
法人税等合計	24,545	23,915
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	317,756
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△484,021	317,756

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	2,730,464	2,877,273
売上原価	2,327,010	2,367,323
売上総利益	403,454	509,950
販売費及び一般管理費	318,209	315,920
営業利益	85,244	194,030
営業外収益		
受取利息	2,043	87
受取配当金	1,517	2,162
金型精算差益	76	376
為替差益	4,650	—
その他	6,298	5,225
営業外収益合計	14,586	7,853
営業外費用		
支払利息	62,365	51,385
為替差損	—	5,602
その他	5,221	1,684
営業外費用合計	67,587	58,672
経常利益	32,244	143,210
特別利益		
固定資産売却益	50	2,547
特別利益合計	50	2,547
特別損失		
固定資産売却損	1,210	—
固定資産除却損	—	994
その他	—	0
特別損失合計	1,210	994
税金等調整前四半期純利益	31,083	144,762
法人税、住民税及び事業税	9,080	4,841
法人税等調整額	2,669	9,095
法人税等合計	11,749	13,937
少数株主損益調整前四半期純利益	—	130,825
四半期純利益	19,334	130,825



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の分配の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は自動車の装備品（以下、自動車部品という）の製造及び販売をしており、国内においては当社が、海外においては米国をユーエスアイインコーポレイテッドがそれぞれを担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従いまして、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」「米国」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	日本	米国	
売上高			
外部顧客への売上高	8,022,235	1,163,207	9,185,442
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	8,022,235	1,163,207	9,185,442
セグメント利益又はセグメント損失（△）	378,711	△21,553	357,157

当第3四半期連結会計期間（自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	日本	米国	
売上高			
外部顧客への売上高	2,693,670	329,884	3,023,554
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,693,670	329,884	3,023,554
セグメント利益又はセグメント損失（△）	150,510	△6,206	144,303

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	357,157
セグメント内取引消去	△5,465
四半期連結損益計算書の経常利益	351,692

当第3四半期連結会計期間（自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	144,303
セグメント内取引消去	△1,093
四半期連結損益計算書の経常利益	143,210

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。